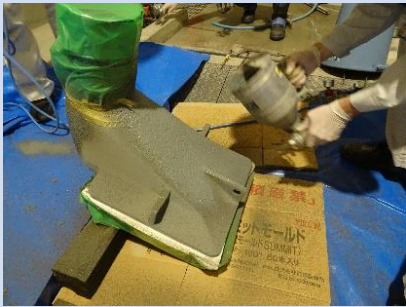




技術名	付着強化型排水柵	
開発者	日本車輛製造株式会社	
技術概要	排水柵外面をポリマーセメントでコーティングすることにより、コンクリートとの密着性が増強し、SBR(スチレンブタジエンゴム)に含まれるゴムの成分によって止水性が向上するため、標準的な排水柵より漏水リスクが低減する。	
試行状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>付着強化型排水柵製作状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>SBR系 ポリマーセメント による被覆</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>排水柵設置状況</p> </div> </div>	
	従来技術（過去試験による付着強度）	新技術（小型試験片による付着強度）
精度	<ul style="list-style-type: none"> FC250とコンクリートの付着強度 0.56N/mm²（過去試験値） 	<ul style="list-style-type: none"> FC250とポリマーセメントモルタルの付着強度 2.50N/mm²（今回試験値）
効率性	排水柵の設置：1日	排水柵の設置：1日（従来技術と同じ施工方法）
コスト	約13万円（排水柵の製品単価）	約15.5万円（排水柵の製品単価）
評価	排水柵への付着強化処理の前に小型試験片において付着強度を別途確認した。付着強度は事前の実験結果1.7N/mm ² を上回る2.5N/mm ² を得ており、付着強化した排水柵も同様の性能を発揮すると考えられることから、排水柵とコンクリート界面からの漏水を止水することが期待される。	